

# 部活動ガイドラインを策定します!

市教育委員会では、平成30年3月にスポーツ庁が策定した、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を受けて、本市独自のガイドラインを策定します。ガイドライン策定に向けて、アセスメントとなるアンケートを実施するとともに、生徒や保護者、教員の代表者から意見を聴くことで、実態に即した本市独自のガイドラインを策定します。

## 【中学校】適正な休養日について アンケート調査より

	平日の休養日(※生徒・保護者は週当たりの休養日数)					休日の休養日				
	週3日以上	週2日程度	週1日程度	いない	無回答	土日どちらも休む	土日どちらかを休む	月2日程度	必要ない	無回答
教員	1%	17%	50%	4%	28%	14%	32%	17%	7%	30%
生徒	16%	34%	30%	13%	7%	****	****	****	****	****
保護者	8%	48%	37%	2%	5%	****	****	****	****	****

生徒を対象としたアンケート調査では、中学生は、「体力の向上や友達と楽しく活動する等、目的をもって活動している」と回答した割合が約7割、高校生は、「部活動に満足している」割合が約7割という結果が表れています。また、保護者を対象としたアンケート調査においても、中学校、高等学校共に、「部活動に満足している」と回答した割合が7割を超えています。部活動に満足し、目的をもって活動している一方で、生徒、保護者、教員共に、適切な休養日が必要と回答しています。

## ～基準についての意見聴取～

以下の、基準①～③について、7月下旬から8月上旬にかけて、生徒、保護者、教員の代表者から意見を聴く、熟議を行いました。8月末までに本市独自のガイドラインを策定いたします。

- <基準①>
  - ・学期中は、週当たり2日以上(平日1・休日1)とする。
  - ・長期休業中の休養日の設定は、学期中に準ずる。
  - ・学校閉庁日及び年末年始は、休養日とする。
  - ・1日の活動時間は、平日2時間程度、休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間に合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。
- <基準②>
  - ・部活動の特性や実態を踏まえ、年間を見通した長期的な視点で休養日を設定する。
- <基準③> (高等学校)
  - ・さいたま市立高等学校「特色ある学校づくり」計画に基づき、学校経営方針、地域の実態を踏まえて各学校の部活動の在り方について検討する。

## SNSを活用した相談窓口を開設します

市教育委員会では、現在、児童生徒の様々な悩みに寄り添い、問題を解決するために、教育相談体制を整備しています。近年の若者のコミュニケーション手段は、SNSの利用時間が多く、直接話をする電話の利用時間は少ないという特徴があります。そこで、今回、新たに「さいたま市SNSを活用した相談窓口」を開設しました。

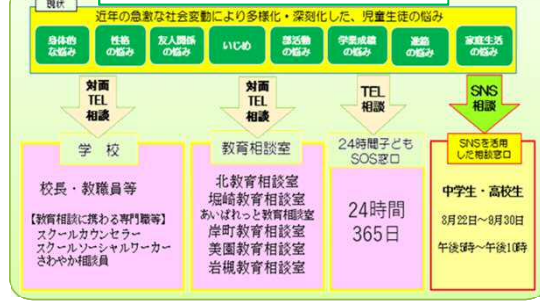
### SNSを活用した相談窓口(概要)

期間：8月22日(水)～9月30日(日)  
 時間：午後5時～午後10時  
 対象：市立中・高等学校の生徒  
 内容：中・高生の悩み全般

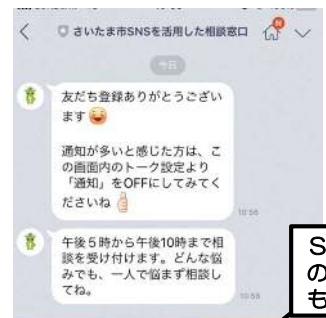
### メリット

- ①言葉で表現することが苦手な子どもでも、文字で相談できるため、相談しやすい。
- ②日常使い慣れているコミュニケーション手段であるため、相談しやすい。

### さいたま市の教育相談体制



### LINE相談画面(イメージ)



SNS以外の相談窓口も紹介

さいたま市の相談窓口を紹介! SNSについて詳しく知りたい方はこちら

「相談する」をタップすると、相談が開始される

情報モラル学習サイト「ス学ビ」

## 市教委掲示板

今回は、指導1課と高校教育課、総合教育相談室の事業についてお知らせしました。今年の夏は、熊谷市で観測史上最高気温を記録するなど猛暑が続きました。教育委員会では、熱中症事故防止のため、暑さ指数が28度以上になると予想される日には学校に注意喚起を行ってきたところです。

2学期が始まりましたが、まだまだ暑い日が続きます。お子様の心と体調への御配慮をどうぞよろしくお願いいたします。地域の皆様には、体調にご留意いただき、子どもたちを見守っていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

## 教育長室の窓から

はじめに、「平成30年7月豪雨」により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様の方よりお見舞いを申し上げます。

さて、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。今回も本市は、小・中学校ともに、すべての科目で全国や大都市の平均正答率を上回っており、調査開始の平成19年度以降、良好な結果が続いております。教育委員会といたしましては、結果を他の都市と比較するだけでなく、各学校が調査結果をもとに自校の強みと弱みを把握し、子どもたち一人ひとりの学力を伸ばしていくことが大切であると受け止めています。そのために、調査結果を分析した情報提供や課題克服に向けた具体的な助言を積極的にを行い、各学校が「真の学力」の育成に向けた学習指導の工夫改善に積極的に取り組んでいけるよう引き続き支援してまいります。